

レースって良いよね
第18回「決断」の巻

毎度おなじみ流浪のレース屋、SHYGUY でございます。何やらタモリ倶楽部みたいな語り口で始まってしまった。

人生においては幾度となく繰り返される決断の時がある。ある時は自身の意思で、またある時は不可抗力によって。

迫り来る選択肢をいかに決断を下し進むのか。いや、実のところは自身の意思による決断のつもりでも本当は最初から運命付けされている物かもしれない。

そうすると、人生とはまさに神のみぞ知る世界、その明暗さえも決定権は運命に委ねるしかないのか。

今、決断の時を迎えている。

このホームページを開設した当時もまた決断の時であった。それは、アメリカンレースに区切りをつけ日本で新たな活動を始めるというものだった。

更に振り返れば、ウエストレーシングカーズを退社し、渡英した時もこの上ない大きな決断を要した。

いずれにしても、当の本人にとっては期待や不安にまみれた一大ヒューマンドラマなのだけど、まあ他人から見れば「自分の好き勝手にやってるだけ」としか思われまいだろうが、とにかく本人は好き勝手どころか、そうそう気楽な気持ちで道を歩いている訳ではない。

もっとも、私自身の性格やその容姿などは、誰からもどうやらシリアスには受け取って貰えたためしがなから仕方ないといえればそれまでである。

さて、私が関係するレース業界のうち、退社し外部の人間となった場合を除き、現在の職場の事などは仕事上の問題も加味しあえて匿名としてきた。とはいえ、多少なりともこの業界をご存知の方の前ではその匿名性は無意味であったと思う。

現段階においては未だにやはり、現在の職場については明かすことを避けようと思っている。別にバラしたからどうかという大した問題ではない。ただ、これは雇われの身の私流のけじめなのだ。

ん？ 現段階？？ そう、つまりはそういうこと。

もともと、まったく無作為に、適当に流浪の身に任せているのではない。ある信念を軸として行動しているつもりだ。

その信念を満たすためには現在の職場を経ることは必要不可欠な条件であった。この数年間、何にも換えることのできない貴重な体験をしてきた。

今ココで重大な決断を下すのには様々な理由がある。それは決してポジティブな理由ばかりではない。しかし、理由はどうであっても、最後は率直に感謝の気持ちを表し去って行こうと思う。

運命の歯車が狂わなければ少なくともあと1ヶ月、この職場と付き合い合わなければならない。気持ち良く過ごしたいとせつに願う昨今である。